

●入架図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
議 会 ・ 地 方 自 治		
國會議員要覧 平成28年8月版	国政情報センター	国政情報センター
國會要覧 第57版<限定版> 平成28年8月版	国政情報センター	国政情報センター
いちばんやさしい地方議会の本 制度しくみが実態が1冊でつかめる！！	野村 憲一	学陽書房
ま ち づ く り		
図書館はまちのたからもの —ひとが育てる図書館—	内野 安彦	日外アソシエーツ
地域創生成功の方程式 できる化・見える化・しくみ化	木村 俊昭	ぎょうせい
各 種 デ ー タ		
図書館年鑑 2016	日本図書館協会図書館 年鑑編集委員会(編)	日本図書館協会



秋の高野山

先日、紅葉を観に高野山を訪れました。いつも奥之院にばかり訪れていたのですが、今回は金剛峯寺や壇上加藍などを訪れました。思っていたよりも空いていて、ゆっくり観ることができました。平成27年の高野山開創1200年記念大法会のイメージキャラクターで、修行僧（高野聖）をモチーフにした「こうやくん」のパネルが、行く先々に置かれていました。子どもたちや、外国人観光客の方が一緒に写真を撮っているのを見かけました。観光の良い思い出になりそうですね。



そして蛇腹路では、毎年色づいたもみじが紅葉のトンネルをつくり、紅葉スポットとして有名な場所です。残念ながら紅葉の時期には少し早く、観ることができませんでした。ですが緑葉のもみじから、紅葉のもみじに色づき始めているのも楽しめて綺麗でした。散った葉が、紅葉の絨毯のようにもなっているのも魅力的なので、散り始めた時期に行くのもおすすめです。

高野山は、平安時代のはじめに弘法大師によって開かれた、日本仏教の聖地です。「金剛峯寺」という名称は、弘法大師が『金剛峯楼閣一切瑜伽瑜祇經（こんこうぶろうかくいっさいゆがゆぎきょう）』というお経より名付けられたと伝えられています。総本山金剛峯寺というと、金剛峯寺だけではなく、高野山全体を指します。高野山の至るところがお寺の境内地で、高野山全体がお寺になります。なので高野山の本堂はどこになるかという、大伽藍にそびえる「金堂」が、一山の総本堂にあたり、重要行事のほとんどがここで執り行われるそうです。

蛇腹路（じゃばらみち）とは、伽藍の入り口から東塔東側付近までのびる小道のことです。高野山は弘法大師が「東西に龍のふせるがごとく」と形容されました。壇上加藍を頭、現在の蓮華院までを龍がふしている形に例え、この小道が龍の腹付近にあたることから蛇腹道と呼ばれています。

参考ホームページ

「高野山真言宗 総本山金剛峯寺」<<http://www.koyasan.or.jp/>>

